

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の概要

## 本校の概要

## 今回の調査における課題

## 改善の方向

小  
学  
校  
国  
語

### 【内容】

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」

- 問題の正答率は、全国平均と比べて、やや下回っており、無解答率が高い。自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉える問題の正答率が高い。

「書くこと」

- 問題の正答率は、全国平均と比べて下回っており、無解答率が高い。書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考える問題の正答率が高い。

「読むこと」

- 問題の正答率は、全国平均と比べて下回っている。目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける問題の正答率は全国平均よりも高い。

【知識及び技能】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

- 問題の正答率は、全国平均に比べて、やや下回っているが、無解答率は低い。

「情報の扱い方に関する事項」

- 問題の正答率は、全国平均に比べて下回っており、無解答率が高い。

「我が国の言語文化に関する事項」

- 問題の正答率は、全国平均に比べて大きく下回っている。

- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。

- 図表などを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

- 叙述を基に事実と感想、意見などとの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

- 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。

- 話し手の考えと自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして自分の考えをまとめる学習活動の充実。

- 図表やグラフなど複数の情報を活用して、自分の考えが相手に伝わるように書き表す学習活動の充実。

- 書き手が、どのような事実を理由や事例として挙げているかに着目して整理し、それを基に文章全体の構成を捉えて要旨をまとめる学習活動の充実。

- 普段の学習で習った漢字を使ったり、自分や友達が書いた文を読んだときに間違いの漢字を書き直したりするなど、既習漢字の定着を図ること。

- 話合いの内容を記録する際に、複数の情報や語句の関係付けの表し方を理解し、考えを明確にしたり、まとめたりする学習活動の充実。

- 言葉への関心を深めるために、教科書などに記載されている文章から自分たちが普段使っている言葉とは異なる言葉を見付けて調べる活動の充実。

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の概要

## 本校の概要

## 今回の調査における課題

## 改善の方向

### 小学校算数

#### 【領域】

#### 「数と計算」

- 問題の正答率は、全国平均と比べてやや下回っており、無解答率が高い。

#### 「図形」

- 全体としての正答率は全国平均を上回っている。しかし、小問ごとに見ると、全国平均より下回っていたり、無解答率が高かったりする問題がある。

#### 「測定」

- 全体としての正答率は全国平均をやや下回っているが、小問ごとに見ると、全国平均を上回っている問題がある。

#### 「データの活用」

- 全体としての正答率は全国平均を下回っており、無解答率が高い。

- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分としてとらえること。

- 異分母の分数の加法の計算をすること。

- 平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。

- はかりの目盛りを読むこと。

- 目的に応じた適切なグラフを選択して増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。

- 数直線上で、1の目盛りまでを何等分しているかを確認することで分母の数を明確にし、更にその1目盛り分が幾つあるかが分子の数になることを理解して答える問題に取り組む学習活動の充実。

- 異分母の分数の加法の際、通分してから計算することを確認し、計算の反復練習を取り入れた学習活動の充実。

- 平行四辺形を含めた図形の性質と作図の仕方を確認し、実際に作図する学習活動の充実。

- 「はかり」に限らず、目盛りを読む際は最小目盛りの大きさを確認する習慣が身に付くように、反復練習を取り入れた学習活動の充実。

- 問題文から求めるものを明確にした後、目的に応じて適切なグラフを選択し、そのデータの特徴や傾向を捉える学習活動の充実。

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 本校の概要

## 本校の概要

## 今回の調査における課題

## 改善の方向

### 小学校理科

#### 【領域】

「エネルギー」を柱とする領域  
 ・問題の正答率は、全国平均に比べて、大きく下回っている。

「粒子」を柱とする領域  
 ・問題の正答率は、全国平均とほぼ同程度である。水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識と関連付けて解答する問題の正答率は、全国平均を大きく上回っている。

「生命」を柱とする領域  
 ・問題の正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

「地球」を柱とする領域  
 ・問題の正答率は、全国平均とほぼ同程度である。

●問題を解決するための観察、実験の方法を発想し、表現すること。

●生きて働く知識を習得するために、知識を他の学習や生活の場面でも活用して、概念的に理解すること。

●問題に対する自分の考えをまとめる際、実験などの解決方法が適切であったかを検討すること。

●自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を基に問題を見出し、表現すること。

●学習した内容や自分の生活体験などを基に根拠のある予想や仮説を発想して、思考し判断すること。

○授業の中で設定した目的を達成できるよう、自然の性質や規則性を適用したものづくりを行う学習活動の充実。

○観察、実験したことを言葉で表現したり、図に整理したりするなど、知識と関連付けて理解を深める学習活動の充実。

○実験などが予想したことを確かめる方法になっているかを検討して改善したり、発想した解決の方法がその通りできていたかを考えたりする学習活動の充実。

○複数の自然の事物・現象を比較し、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見出していく学習活動の充実。

○理科で学んだことを他の学習や生活に関連付けることを通して、知識として身に付ける学習活動の充実。